

「本牧の未来の交通網を考える会」第5回会合議事録

出席者：21名

日時：平成24年8月3日午後3時～

場所：本牧地区センター2階

司会：二藤 忠（横浜本牧観光協会理事・交通担当）

1. 呼びかけ人・発起人 藤木幸夫会長が初めて出席した。同会長は、これまで検討に参加し、各方面で尽力してきた出席者や事務局に謝辞を述べた。

議事に入る前に出席者の自己紹介を行った。その後、具体的な議事に入り、今後の検討の進め方として、①バス②モノレール③LRT④地下鉄一の四つの「分科会」を設けて具体的な議論を行うことを承認。併せて分科会リーダーが議論をけん引する「副会長」に就くことも承認した。

次いで、鶴田会長代行が議会や行政での議論を促す方策の一つとして、請願を行いたい意向を説明した上で、事務局案をたたき台として提示した。会での議論の結果、内容を再検討した上で、具体的かつ実現を促す要望や施策など盛り込んだ案を取りまとめることで意見が一致した。

2. 各出席者から出た意見の要旨は次の通り。

- ① モノレール車両メーカーからは、本牧地区にモノレール導入は可能だと聞いている。
- ② 今後の検討について、考える会がいいのか、行政主導がいいのか検討するべき。
- ③ 横浜環状鉄道構想の考え方は、山手線や大阪環状線のように初めから環状になっているのではなく、いくつかの鉄軌道をつないで環状にする構想である。
- ④ 「観光の港」を考えた交通網を考える必要がある。

3. バス分科会リーダーの阿部氏が話題提供として「本牧地区の路線バスのサービス改善について」説明した。しかし、「いまの市営バスのあり方を否定している内容ではないか。現状以上に便利にしようというのは酷ではないか」との意見が出た。

4. 鶴田理一郎会長代行が閉会のあいさつを行い、「分科会を設置したので、一層の議論・検討を進めて参りたい」と述べ、午後4時15分に会合を終了した。次回会合は9月3日（月）午後3時から、本牧地区センターで開催する。

注：本会の開催事務経費や会場使用料、当日の飲料代などの一切の費用は、横浜本牧観光協会が負担しています。

（議事録作成：鳥海 光夫）